

## 平成 28 年度第 2 回岡崎市少年愛護センター運営委員会

日 時 平成 29 年 1 月 18 日 (水) 午後 2 時

会 場 岡崎市役所 東庁舎 503 号室

出席委員

委員長 石 川 優 (岡崎市社会福祉協議会長)  
平 松 文 子 (岡崎市民生委員児童委員協議会主任児童委員連絡会会長)  
足 立 佐恵子 (学区女性団体代表 (根石学区))  
成 瀬 眞佐子 (岡崎少年愛護センター地域指導員)  
磯 部 清 志 (岡崎市子ども会育成者連絡協議会事務長)  
岡 部 克 彦 (岡崎市小中学校現職研修委員会生徒指導部長 (六ツ美北中学校長))  
中 垣 明 道 (岡崎市小中学校現職研修委員会生徒指導部長 (細川小学校長))  
谷 上 正 明 (県立高等学校生徒指導部代表 (岡崎高等学校教諭))  
田 中 信 宏 (私立高等学校生徒指導部代表 (岡崎学園高等学校教諭))  
青 山 義 弘 (岡崎警察署生活安全課長)  
三 輪 晴 美 (一般公募)  
宮 澤 会美香 (一般公募)

事務局 小野 鋼二 社会教育課長  
社会教育課社会教育班 大澤、酒井、木島、松崎  
少年愛護センター 金澤

議 題 ( 1 ) 平成 28 年 12 月までの活動報告について

配布資料に基づき、少年愛護センター職員より平成 28 年 12 月までの活動状況を報告した。街頭補導や少年相談については、具体的な例を交えながらの報告となった。

- ・少年相談を P R するティッシュを 11 月から街頭補導のときに配布し始めたところ、少年相談の件数が増加した。
- ・被害件数は減少しているが、内容が悪質になっているので警戒が必要。
- ・街頭補導でも、服装や身なりに問題があるような青少年はほとんど見かけなくなった。

( 委員からの質問と事務局の回答 )

- ・小中学校高校別の被害件数が、前年から半減している理由は？  
各学校の生徒指導が行き届いてきたのと、地域の見守り体制がしっかりしているためと考えている。ただし、件数は減っているが内容は悪質になっているので危惧している。
- ・カラオケボックスを巡回した際に、店舗から営業妨害になるから困

ると言われたことがあった。カラオケボックスにはどのように巡回しているのか？

愛護センターの街頭補導では、警察のような権限がないので、未成年が飲酒・喫煙していたら警察に通報するように店舗の受付でお願いをしている。警察であるサポートセンターの職員と一緒に巡回するときは、店舗の中まで入っている。

( 2 ) 平成 28 年度岡崎少年愛護センター指導員大会について

日時・会場の連絡と内容の説明を行い、関係者の出席にご配慮いただくよう依頼した。

議事終了後、意見交換・情報交換を行い、それぞれの委員の立場から、青少年を取り巻く状況について意見交換を行った。